

2022年4月21日

住友理工の鉄道車両用防振ゴムが JR 東海「315 系」に採用

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、当社の鉄道車両用防振ゴムが、東海旅客鉄道株式会社（JR 東海、本社：名古屋市中村区、代表取締役社長：金子慎）の在来線通勤型電車「315 系」に採用されましたので、お知らせいたします。



鉄道車両用防振ゴム（軸バネ円筒積層ゴム）



当社製品が採用された 315 系 = JR 東海提供

JR 東海の 315 系は、新たな在来線通勤型電車として、3月5日より、JR 中央本線 名古屋駅～中津川駅間で走行を開始しました。この 315 系は、同社のグループ会社である日本車輛製造株式会社（日本車両、本社：名古屋市熱田区、代表取締役社長：五十嵐一弘）の新ブランド「N-QUALIS（エヌクオリス）」の第一弾で、最新技術を導入して、安全性・安定性のさらなる向上などを実現した車両です。

鉄道車両用防振ゴムは、鉄道車両の台車部分に取り付けられ、走行中の振動を低減する製品です。当社の防振ゴムは新幹線をはじめ、国内外の鉄道車両に採用されています。今回、このうち、軸バネ円筒積層ゴムとリンク用のブッシュの採用が決定しました。本製品は蓄積した製品実測データの集約と実物モデルでの解析・シミュレーションをもとに、予測精度を大幅に上げ、耐久性が向上しています。

当社は、1960年代半ばより鉄道車両用防振ゴム事業に参入。半世紀以上に及ぶ確かな実績と最新のゴム材料配合技術により、お客様の要求を満たす新規ゴム材料を開発しています。



車両下部の台車に組み付けられた当社製品
(赤色四角部分) =JR 東海提供

本製品によって、これまで以上に、旅客の皆さまの快適な移動に貢献するとともに、耐久性の向上によって、コロナ禍における鉄道関係者のメンテナンス作業の軽減にもつながります。当社グループでは、今後も安全・快適な鉄道運行に貢献できるよう尽力してまいります。

■ JR 東海 在来線通勤型電車 315 系

<https://railway.jr-central.co.jp/315s/>

以 上

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>